

(4) スクールバス乗車時の対応

	学校	運転手	乗務員
地震発生	・現在地確認。 ・人数と安否確認	・急ブレーキをかけずに、ハンドルをしっかりと握り、ゆっくりとスピードを落とす。 ・空き地か道路左側に停車し、ドアロックせず揺れがおさまるまで車内で待機。 ・カーラジオを付け、災害情報などを聞く。	・児童生徒に落ち着くような声掛け。 ・頭を下げ、体を丸めるよう指示。
ゆ れ が お さ ま る			
		・バスが動くようなら、横道に逸れ、駐車可能な場所に停める(緊急車両等の妨げにならないように)。 ・ラジオの災害情報を聞き、災害の規模等信息を収集する。 ・周辺の避難可能な場所を確認し、バスごと避難可能な場所はバスごと避難し、バスごと避難することが不可能な場所は徒歩で避難する等、判断する。 ・車両のキーはつけたまま、ドアロックをせずにバスから降りる。 ・連絡先メモを車内に残し、車検証を持って徒歩で避難。津波の危険がある場合は、高い場所へ避難する。	・現在地がどのような場所か、判断し、避難場所と避難方法を定める。 ・津波の危険性があるかどうか確認する。 ・避難方法について児童生徒に指示をする。 ・バスから降り、できるだけ児童生徒同士手を取り合って、隊列になって避難する。 ・周辺に応援可能な人員がいらないか確認し、必要なら応援を要請する。